



大津市立晴嵐幼稚園  
園長 平尾かなめ  
大津市鳥居川町 15-22  
☎・FAX 537-1578  
Otsu2714@city.otsu.lg.jp

まだまだ寒い日が続いていますが、暦の上では立春を過ぎ、日も随分長くなりました。園庭に立つ桜の木の枝には冬芽が目立ち、寒々しかった枝が賑やかに見えます。春への準備を始めているのですね。しかし、この芽はいつできたのでしょうか？実は、前年の夏だそうです。生命力を芽にたっぷり蓄えながら、冬の寒さにさらされることで開花に向けて本格的に生長を開始するのだといいます。

子どもたちもいろいろな経験をし、いろいろな感情を味わいながら、大きな力を蓄えて、進級・進学に向けての準備をしています。

4月にはこの固い芽が柔らかな美しい花になるのだなと子どもの成長した姿と重ね合わせながら想像し、今から楽しみにしているところです。

### 「雪遊び」でも「考える子ども」!

「雪が積もったら雪遊びしたいね。」と話していた子どもたちの願いが叶い、今年初の積雪の日に、雪合戦や、雪だるまづくり、かき氷づくりなど、存分に雪遊びを楽しむことができました。

砂と一緒に雪をお皿に入れて混ぜると、いい音がすることに気付いたA君。「シャリシャリって音がするんだよ。」と教えてくれました。気付いたことを言葉にして表現することで、周りにいる友達にもその気付きが広がり、試してみる姿にもつながっています。また、雪を「ギュツ」とすると固まることや、水に入れたら溶けることも遊びの中で気付いています。また、その冷たさや、手がかじかむ感覚、遊んだ後の足湯ならぬ「手湯」に手



が溶けていくようなほっこりする感覚も味わい、冬ならではの楽しい時間を過ごすことができました。

### 晴嵐幼稚園の教育目標

3つの「あ」

あいさつのできる子ども



あきらめない子ども

あいてのことも考えられる子ども



### 鬼は〜外! 福は〜内!

2月2日(金)、1年間の安全や健康を願って節分行事を楽しみました。

豆を炒ったり、いわしを焼いたりする様子を見て、「いい匂い〜。」「炭ってあったかいね。」と五感をフルに働かせながら楽しんでいると……幼稚園にたくさんの鬼が!!

「キャ〜。」と言いながら逃げ惑う子、果敢に豆を投げつけ挑んでいく子、固まって先生の後ろに隠れる子、様々な姿がありました。

「怖い」という感情を知り、それを回避するためにどうしたらよいか考えることはとても大切なことです。節分の由来や、鬼は病気や心の中の悪いものが鬼になって表れたことを話しました。怖いけれどみんなで力を合わせてやっつけたことで、乗り越えられたという経験となり、子どもたちの自信につながってくれると嬉しいです。



裏面もご覧ください